

平成27年度行政評価シート【個表】

平成 27 年 6 月 25 日

評価対象事業		評価者	市民活動部観光商工課担当課長	小澤 圭介
市民-14 海水浴場運営事業		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	主管課	観光商工課
総合計画上の位置付け		分野	観光	施策の方針
				安全で快適な観光空間の整備

1 事業の目的		2 平成26年度に実施した事業の概要		
対象	海水浴客等	海水浴場開設に必要な電気・水道・放送設備やコースロープを整した なぎさの整地、監視業務等を実施し安全確保を図った 安心して快適な海水浴場を実現するため、警備員の巡回や啓発看板の設置 を行った		
意図	海水浴場の公衆衛生、危険防止及び秩序保持を図るため			
効果	海水浴客にとっては、安全に海水浴を楽しむことによる満足感の高揚が図られ、市にとっては、産業振興、雇用確保などの経済的波及効果や地域の活性化につながる			

3 事業費等基礎データ					
データ	データ区分	27年度当初予算	データ区分	26年度決算	備考
	人口	177,243人	人口	177,464人	
	世帯数	80,676世帯	世帯数	80,368世帯	
運営資源状況	事業の対象者数		事業の対象者数		・各年3月31日 (住民基本台帳)
	当初予算(千円)	60,758	決算値(千円)	48,032	
	国県支出金		国県支出金		
	地方債		地方債		
	その他	12,000	その他	12,000	
	一般財源	48,758	一般財源	36,032	
事業経費運営	人員配置数	1.3	人員配置数	1.5	
	人件費(千円)	10,599	人件費(千円)	11,467	
	総事業費(千円)	71,357	総事業費(千円)	59,499	
	市民1人当りの経費(円)	403	市民1人当りの経費(円)	335	
	対象者1人当りの経費(円)		対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果		※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。	
平成26年度事業実施にあたっての課題	海の家営業形態の多様化や、生活・文化に対する意識の変化に伴い、海の家クラブ化、入れ墨を露出した若者や酒酔い客による風紀・マナーの悪化が著しく、誰もが安心して快適に利用できる海水浴場とは言えない状況となり、海水浴場の健全化が求められた。		
課題解決のために行った平成26年度の取組	市条例を周知するため、マナーアップ推進員(警備員)による巡回業務を新規に予算化。マナーに反する迷惑行為を防止するため、海水浴客への呼びかけを行い、海水浴場の健全化を図った。また、海を家の新たな営業ルールについては、イベントの事前審査を実施し、風紀悪化の原因となるクラブイベント等の開催防止を図った。また、営業音の数値基準の設定や、夜8時30分以降はBGMを流さないなど、周辺環境へ配慮した営業を行った。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決	
未解決の課題 新たな課題	鎌倉市海水浴場のマナーの向上に関する条例の施行に伴い、風紀改善に一定の効果はあったものの、依然として海水浴場利用者の飲酒に伴うトラブルや砂浜での音響機器の使用などの課題が残った。		

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない	
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない	
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある	
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいのか	3. 廃止・休止による影響は大きくある	
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である	
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいのか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している	
公平性	受益者負担は公正・公平か	△-1. 今は受益者負担を求めているが、今後、負担の導入を検討する必要がある	
	協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-2. 既に市民等と協働して適格に事業を実施している
		協働実施済の場合のパートナー	鎌倉市海浜組合連合会

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	見直しの内容 事業へ統合
	予算規模の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 条例改正に伴う砂浜での飲酒、音響機器の使用禁止を徹底するため、警備員の増員に伴う予算規模の拡大した。	
総評	市条例の適正な運用と海を家の営業に関するルールの進行管理を行い、引き続き誰もが安心して快適に利用できる海水浴場運営に努めていく。		

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)

比較事項	海水浴客数(平成26年度実績) 単位:人								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	927,200	2,386,274	143,200	49,972	17,180	31,679	87,143	201,300	580,164

比較事項	海水浴場開設費用(平成26年度予算額) 単位:千円								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	48,954	25,057	13,891	10,941	9,803	1,210	21,125	26,772	3,706

比較事項	海水浴場開設費用(平成26年度予算額) 単位:千円								
団体名	横浜市	大磯町	真鶴町	湯河原町					
他市実績	50,969	19,130	2,785	9,677					

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方  
 海水浴場の規模や開設期間が市町村ごとに差異がある中で、一概に海水浴客数や開設経費をもって事業規模の適否を判断することはできない。しかしながら、本市は県内でも有数の入込客数があることは事実であり、それに伴い多額の開設経費を要している実情を踏まえ、訪れる海水浴客及び周辺住民双方が満足する海水浴場運営を進めていく上で、事業規模の拡大縮小を検討する際の一つの指標として、今後も引き続き推移を見守る必要がある。

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	第2期鎌倉市観光基本計画に基づく海水浴客数の目標値						単位	万人	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31	平成28年度以降は、次期観光基本計画の目標値に従う。			
当該事業の実施により、多くの海水浴客の来訪を目指すため。	目標値	90.0	90.0	未定	未定	未定	未定				
	実績値	92.7									
	達成率	103.0%									

指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										

指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										

指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										

指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方

● 事業に関する特記事項

<input checked="" type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
---	---